

第3次草津市環境基本計画 重点事業取組状況

重点事業	1.いきもの自然学校（本編p.29）	2.地域資源健幸ラリー（本編p.30）	3.環境イノベーション（本編p.31）
事業概要 （計画抜粋）	自然と人のふれあいや自然観察等、総合的な環境が学べるモデル地域を設定し、「いきもの自然学校」において、環境の保護や保全について推進する、多様な主体で推進に関わる人材の育成を図る。また、自然を題材として、心と体の健康を育むとともに、生きがいを感じられる取組を推進する。	地域資源（自然、歴史文化、食、産業等）を巡り歩きながら、自然と人との関わりについて学び体感し、環境保全の意識の向上および地域資源の維持管理や継承の行動につなげるとともに、誰もが生きがいをもち健やかで幸せに暮らせる「健幸都市くさつ」を推進する。	環境配慮型製品やサービス等を導入しようとする市内中小企業者等がその研究や開発に当たって不足する知恵・技術の習得や、実証実験場所を確保するため、それらを有する事業者等を募集し、連携・協力をを行いながら、環境イノベーションの創造を図り、その内容について周知を行う。
最終目標 （最終年度）	○2つのモデル地域を設定（例 湖岸地域、山手地域） ○地域資源や既存の取組を活用し、地域の生物多様性について、体系的に理解できる環境学習プログラムを展開し、環境に資する取組の実践者やその取組を支援する人材を育てる。 ※生物多様性は専門性を有し、市民が簡単に取り組めるものではないため、体系的に理解できるプログラムを設定し、そこで市民が学び、他方に広げていく必要がある。 ○モデル地域において経験を積まれた方に講師となっていただく。 ※専門性を学んだ人のみならず、地域の高齢者や農業生産者等にも参画いただく。	○14箇所のモデルコースの設定（各地区に1つを想定） ○各地域で自然健幸ウォーキングやサイクリングツアーが実施される。 ○地域資源の維持管理と活用が適切に実施されている。 ※自然環境保全地区をはじめとした地域資源の維持管理は、地域やボランティアの方が中心となった取組が多く、昨今、メンバーの固定化により高齢化が顕著となっており、代替わりが進んでいない事例が多い。地域資源の活用を通じ、地域資源の維持管理が持続可能な仕組みとして成り立つ。	○事業者のマッチング制度の設計・運用。 ○マッチング制度による環境配慮型商品やサービスの創出。 ○創出された環境配慮型商品やサービスが市内・全国で導入される。
計画 スケジュール	R3 R4 R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 準備 展開 準備 展開 モデル地域 A モデル地域 B	R3 R4 R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 準備 展開 準備 展開 準備 展開 準備 展開 準備 展開 ※2年毎におおよそ2箇所、計14箇所のモデルコースを設定・展開を行う。	R3 R4 R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 準備 展開
R5年度 実績と成果	【実績】モデル地域2学区（志津、笠縫東） 志津学区 ○志津里山自然学校プログラム（6回実施） ○外部講習：体験からの学びとインタープリテーション（滋賀県主催） 子どもの目線の活動実践とプログラムづくり（滋賀県主催） 笠縫東学区 ○笠縫東いきもの自然学校プログラム（3回実施） 【成果】 ○自然と人のふれあいや自然観察等の体験を中心とした環境学習プログラムを検討し、予定していた取組を地元と連携して実施することができた。	【実績】 ○市内の小中学校の中から2学区（老上西学区、志津学区）をモデルコースの設定学区として選定 【成果】 ○R6年度の事業実施に向け、老上西学区、志津学区の2学区において、地域資源の掘り起こしを行っていただくにあたり自然環境保全地区等をめぐるコース案等の助言を行うことができた。 【参考：これまでの実績】 R3・R4：玉川学区、山田学区、笠縫東学区、常盤学区	【実績】 ○市内事業者の方々に対し、環境意識の向上および地域環境課題の解決に向けたセミナーを開催 ・環境イノベーションセミナー（R5.11.29開催） ○先進地における事例等の情報収集 【成果】 ○市内の事業関係者の環境意識の向上および地域の環境課題の解決に向けて、現在市内で先進的な取組を進めておられる事業所の事例紹介を中心に情報提供を行うことができた。
今後の課題 および 改善策	○地域主体で実施できるよう参加者等からスタッフの確保を行うなど、段階的に取り組む。 ○環境学習プログラムを実践し、評価と再構成を行う。 ○事業の推進に関わる人材を育成するため、いきもの自然コーディネーター候補の外部講習会への参加を促す。	○順次各学区と地域資源についての協議を重ね、モデルコースを設定する。 ○R4年度設定学区について、講師派遣等の支援を行う。 ○学区間でモデルコースを共有し、地域住民の交流の機会を増やす。 ○学区間でラリーの解説ポイントになるような地域資源（神社等）の数が異なるため、全学区実施に向け提案方法の検討が必要。	○草津商工会議所と連携してセミナーを実施する。 ○セミナーのアンケート結果および、先進地視察を含め、他の同規模市町村の動向を踏まえ、環境に配慮した製品を創出するうえで市が求められていることを調査したうえで、あらたな制度設計を行う。